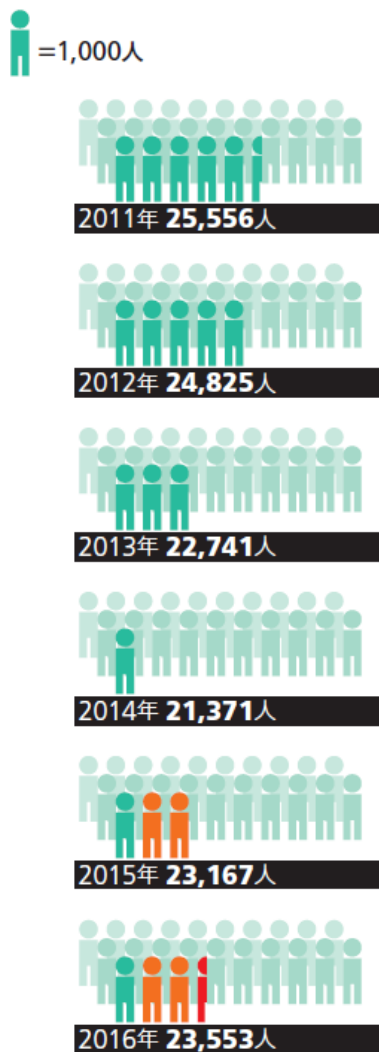


研究員の眼

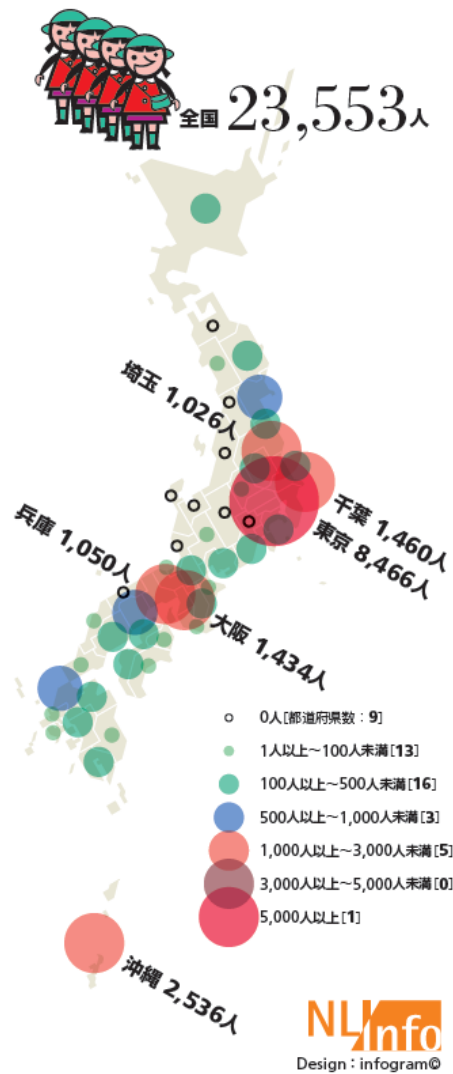
むしろ増えている保育園待機児童数
都市部に集中する一方、待機児童ゼロの地域も。地域差をならず検討が有効。

生活研究部 主任研究員 久我 尚子
(03)3512-1878 kuga@nli-research.co.jp

待機児童数の推移 [各年4月1日時点]



待機児童マップ [平成28年4月1日現在]



「保育園落ちた」ブログでも大きな社会問題となった待機児童問題。政府で保育園の整備が進められる一方、待機児童は解消されず、最近では、むしろ増加傾向にあります。

アベノミクスによる雇用拡大、女性の活躍促進策などにより、働く女性が増えているためでしょう。また、待機児童の大半は、東京を中心とした都市部に集中する一方、待機児童0で定員割れをしている地域もあります。

都市部では保育士・保育園用地不足が深刻化しているため、地方からの保育士の呼び込み、あるいは、若年世帯の地方移住など、地域差をならずような検討も有効でしょう。